

平成 25 年 2 月 15 日

ボート競技指導者とボート競技関係者の皆様へ

日本ボート協会会長
大久保 尚武

現在、さまざまなスポーツで指導者のパワーハラスメント（含む暴力行為）が大きな問題となっております。JOCでは、選手からの告発もあり、各所属競技団体に対して、暴力根絶への事務連絡を出すと共に、各団体からの実態ヒアリングを行い、更にJOC指定オリンピック強化選手、スタッフからのヒアリングも実施中です。

2月7日には、文部科学大臣メッセージ「～スポーツ指導における暴力根絶に向けて～」を添付した日本体育協会会長名での「スポーツ指導における暴力根絶への対応について」が所属団体に届きました。ここにその書面を添付いたします。

日本ボート界では、指導者による暴力は無いはずだと確信しております。しかしながら時代の流れとともに、単なる“暴力”という認識だけでなく、広い内容を含むパワーハラスメント、そしてセクシャルハラスメントも理解した上で、指導に当たることが現在は求められています。

本会でも、今までの倫理規定を見直し、コンプライアンス規定や対応相談窓口の設置等を進めており、現場指導のサポートに努めてまいる所存です。

皆様におかれましては、より丁寧なコミュニケーションと、スポーツマンの基本であるルールやマナーを守ったご指導を徹底していただきますようお願いいたします。